

みやぎ復興プレス

「みやぎ復興プレス」では、東日本大震災により被災された方をはじめとした復興に関わる多くの方々に、宮城の復興状況やイベント、被災者支援など、復興に関する主な情報をお届けします。メールマガジンやWebサイトとも連動し、多くの皆さまのお手元に情報をお届けしますので、よろしくお願いいたします。

目次

- p1 トピックス：東日本大震災から5年
- p2 トピックス（1面の続き）、応援職員紹介
- p3 月刊ココロプレス
- p4 県からのお知らせ、復興イベント情報



メールマガジンによる配信も行っています！ 配信を希望される方は、1お名前、2お住まいの都道府県、3ご所属（個人の方の場合は不要）をメール本文に記載して fukusuim@pref.miyagi.jp まで送信願います！



東日本大震災から5年

東日本大震災から間もなく5年が経過し、復旧・復興の歩みは宮城県震災復興計画期間10年の折り返しを迎えます。宮城県では、国内外から多くのご支援とご協力をいただきながら、復旧・復興に向けて全力で取り組んできました。ライフラインなど日常生活に必要な公共インフラはおおむね復旧し、復興まちづくりや災害公営住宅などの整備は最盛期を迎えています。今月号では、被災者の住宅環境の整備状況等について紹介します。

被災者の住環境の確保

<避難の状況について>

現在も、約5万人（ピーク時約13万人）を超える方々が不自由な避難生活を余儀なくされています。恒久住宅等への移転が進んでいるものの、県内の応急仮設住宅には、45,573人（ピーク時の約35%）の方々が、県外の避難先には、5,906人（ピーク時の約65%）の方々がいます。

避難されている方々の多くは、災害公営住宅への転居や自宅再建を希望していますが、県では、住まいの再建先を決めかねている方々に対して、市町と連携し、恒久住宅への入居が円滑に進むよう、「被災者転居支援センター」を設置するなど支援を続けています。



▲仮設住宅（東松島市）

■ 応急仮設住宅の入居状況（平成28年1月31日時点） ■ 県外避難者数（平成28年1月11日時点）

種類	入居戸数	入居者数
プレハブ仮設住宅	11,125戸	23,763人
民間賃貸借上住宅	9,090戸	21,110人
その他の仮設扱い住宅	318戸	700人
計 (ピーク時:H24.4)	20,533戸 (47,861戸)	45,573人 (123,630人)

※その他の仮設扱い住宅：国家公務員宿舎、公営住宅など

地方	避難者数
北海道	375人
東北	1,627人
関東	1,982人
北陸・甲信越	252人
東海	389人
近畿	566人
中国・四国	200人
九州・沖縄	515人
合計 (ピーク時:H24.4)	5,906人 (9,206人)

<災害公営住宅について>

災害公営住宅は、平成28年1月末までに、計画戸数の約51%にあたる8,077戸が完成しました。

現在、災害公営住宅の整備がピークを迎え、平成28年度末までに約90%が完成する予定です。

■ 災害公営住宅の整備状況(平成28年1月31日時点)

整備計画戸数	着手・完成戸数		進捗率(%)
	着手	完成	
15,917	着手	14,423	90.6
	完成	8,077	50.7



<復興まちづくりについて>

津波被害を受けた市町では、災害に強い新しいまちづくりに向けて、防災集団移転促進事業や土地区画整理事業等を進めています。特に危険なエリアから安全なエリアへの移転を行う防災集団移転促進事業では、計画している195地区全てで工事に着手し、うち140地区で宅地の引き渡しが始まっています。

この他、災害公営住宅の整備事業も含めて、恒久的な住まいの確保に関する事業については、平成27年度までに6市町が完了する予定で、残る9市町もおおむね平成30年度までに完了する見込みです。

※¹復興庁発行の「東日本大震災からの復旧の状況と最近の取り組み平成27年11月版」から抜粋

※²事業の完了予定時期は、復興交付金事業計画（平成27年6月時点）の全体事業に基づくもので、今後、被災自治体による見直しや事業の追加等の計画変更により変動する場合があります。

■復興まちづくりの状況(平成28年1月31日時点)

	計画地区数	造成工事着手等		進捗率(%)
		工事着手	建築可能	
防災集団移転促進事業	195	工事着手	195	100
		建築可能	140	72
土地区画整理事業	34	事業認可	32	94
		着工	31	91

■住まいの確保に関する事業の見通し

	H27	H28	H29	H30
平成27年度までに完了する予定の市町	仙台市、塩竈市、岩沼市、亶理町、松島町、利府町			
平成28年度以降に完了する予定の市町	山元町			
	名取市、多賀城市、東松島市、七ヶ浜町、南三陸町			
	石巻市、気仙沼市、女川町			

被災者の心と体の健康支援

避難生活の長期化や恒久住宅への転居による環境変化等により、ストレスを抱え、体調を崩す方々が多くなっているほか、うつ病やアルコール依存症などの問題の増加も懸念されています。

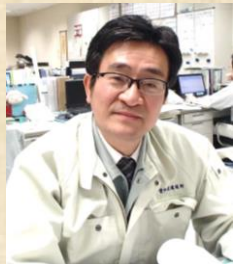
このため、沿岸13市町56箇所の「仮設住宅サポートセンター」では、支援員による被災者の見守り活動等を実施しています。また、「みやぎ心のケアセンター」では、相談や支援者研修などの心のケアに関する支援も行っています。



▲仮設住宅での訪問活動の様子

全国の皆さま ご支援ありがとうございます！

応援職員紹介コーナー Vol.41



氏名 伊藤 栄雄(イトウ ヒデオ)
派遣元 愛知県
所属 復興住宅整備室

仙台生活もあとひと月で1年。季節を一巡りすると故郷を思う気持ちにも似た感情が生まれてきます。復興業務は建築技師として災害公営住宅建設を担い、日々仙台・石巻間を往復しています。第二の故郷は学生時代の関東神奈川相模原。そして「人よし、味よし、土地柄よし」のここ東北宮城仙台。第三の故郷として鮮明に記憶に残るでしょう。東北復興の一助となれるよう、最後まで全力疾走！！



氏名 田宮 篤(タミヤ アツシ)
派遣元 山形県
所属 復興住宅整備室

サクランボの産地、山形県から派遣される3年目になります。業務は、災害公営住宅建設工事の発注及び監督業務です。担当する住宅には、震災で自宅を失い、自力で自宅を建設することが難しい方が2千人以上入居します。その方々の復興の一部を担えることに誇りを持って頑張ります。山形のサクランボ狩りは6月中旬頃からです。隣県の山形県にも足を延ばして頂ければ幸いです。



氏名 野田 雅寿(ノダ マサシ)
派遣元 鳥取県
所属 建築宅地課

スナバで話題(?)の鳥取県から派遣されています。宮城県では美味しい海産物をいろいろ食べましたが、その中でもホヤは衝撃的でした。鳥取にも美味しい食べ物(冬はやはり松葉ガニですね)がたくさんあるので是非遊びに来てください。現在は、住宅団地等を高台に造成するための許可事務を担当しています。被災地の高台移転が早く進むための力になれるよう頑張ります。



氏名 森崎 真人(モリサキ マサト)
派遣元 大分県
所属 建築宅地課

日本一のおんせん県おおいた(味かも満載)から来ました。現在は、防災集団移転等の宅地造成に伴う都市計画法の開発許可を担当しています。大分県は山間部を除きほとんど雪が降らないため、冬タイヤを履くという習慣はありませんでした。そのため、こちらに来てからの雪道運転にはヒヤヒヤしています。残りの任期もあとわずかですが、少しでも復興が進むように頑張りたいと思います。



「ココロプレス」は宮城県の復興を応援するブログです。

宮城の復興状況や生活再建に懸命に取り組む人々の姿、全国から寄せられる力強く温かい応援の様子などを随時発信しています。

おかげさまで1900記事・170万アクセスを超えました。

宮城の復興情報を募集中です!

復旧復興のPRや支援の取り組みなど、伝えたい情報を、下記メールアドレスまでご連絡ください。
fukuuiup@pref.miyagi.jp

必要事項: 1取材対象 / 2取材希望日 / 3取材場所 / 4御担当者氏名 / 5電話番号
※内容や日程によってはご希望にそえない場合もございますので、ご了承ください。



ココロプレス 検索

2016年1月21日 木曜日掲載

離れ離れの絆を結び続けた「西原新聞」

(仙台市)

<http://kokoropress.blogspot.jp/2016/01/nishipparapress.html>

避難生活で散り散りになった住民同士をずっと結び続けてきた「西原(にしっぱら)新聞」。町内会解散のため、2月に発行の第49号で終刊となりました。「寂しいけれど、これからもみんなで定期的に集まるつもり」と住民の皆さんは語っています。



2016年1月28日 木曜日掲載

未来へ! 気仙沼の高校生たちを応援!

(気仙沼市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2016/01/blog-post_28.html

プレミアリーグ 男子バレーボールチームの「ジェイテクト STINGS」。震災以来、バレーボールを通じて気仙沼市の子どもたちを支援しています。このほど一関市で開催されたプレミアリーグの試合に、小中高生を招待してくださいました。



2016年2月10日 水曜日掲載

順調に工事中! JR 常磐線(山元町)

<http://kokoropress.blogspot.jp/2016/02/zyobanline201602.html>

津波被害が大きかったJR常磐線の復旧工事が順調です。運休が続いている浜吉田駅(亘理町) - 相馬駅(福島県)の全長23.2kmのうち、内陸側に移設を進めている約14.6kmの工事区間(山下駅(山元町)、坂元駅(同)、新地駅(福島県))で工期が短縮され、計画より約3カ月早い、2016年12月に再開する予定です。



2016年2月12日 金曜日掲載

「命を守る科学を学ぶ」(多賀城市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2016/02/blog-post_12.html

「私たちに伝えたい今と守りたい命、そして創りたい未来がある」。生徒や家族が多く被災した宮城県多賀城高校に、「防災」「減災」「被害軽減」について多角的に学べる、全国で2例目の「災害科学科」が誕生します。



2016年2月15日 月曜日掲載

さあ～町のにぎわいを取り戻すためにもうひと踏ん張り!

(南三陸町)

http://kokoropress.blogspot.jp/2016/02/blog-post_33.html

歌津地区にある「伊里前福幸商店街」。震災の年の暮れから営業してきた仮設商店街です。来年3月に現在の場所で開店を目指す本設の新商業施設の建設のために、200m離れた町所有地に移築され、そのオープンイベントが開催されました。



2016年2月18日 木曜日掲載

未来へ、そして世界に届けたい私たちの感謝

(七ヶ浜町)

http://kokoropress.blogspot.jp/2016/02/blog-post_18.html

「千年先の未来から現在の七ヶ浜を見てみよう」「命の大切さや、自分たちが体験した出来事を伝えていこう」。七ヶ浜町の子どもたちのミュージカルチーム「NaNa5931」による『ゴスタン Go Astern』が上演されました。



被災地からユースオリンピックへ！

県では、平成25年度から「スポーツの力」を活用した『復興を支える人材の育成』を進めています。（公財）東日本大震災復興支援財団の支援を受け、子どもたちの可能性を広げ、将来のトップアスリート育成を目指す「みやぎジュニアトップアスリートアカデミー」の取り組みです。

このアカデミーの第1期生である、郷内 翔くん（岩沼中学校2年）が、2月12日からノルウェーのリレハンメルで開催された「第2回ユースオリンピック冬季競技大会」の男子スケルトン競技※の日本代表に選ばれました。

大会前には、県庁を表敬訪問し、三浦副知事に「被災地代表として、全力を尽くします。将来は冬季五輪に出場できるよう頑張ります。」と力強く決意を述べました。

「被災地からオリンピックへ！」を合言葉にスタートした、アカデミー事業。そこで育った本県のジュニアアスリートが、世界の舞台へ羽ばたき、私たちに夢と希望をもたらします！

【結果 男子スケルトン 第15位】

※スケルトン競技…頭を進行方向に向け、うつ伏せの状態ですりに乗り、全長1500m程度のコースで速さを競う競技。最高時速は120kmを超える。



郷内 翔くん

問 県スポーツ健康課 ☎022-211-3668

大阪府で「宮城のうめえを体感する9日間」宮城県産食品PRイベントを開催します！

県では、食産業の復興に向け、宮城県産品の魅力を関西の皆様が発信することを目的とした物産イベント「うめえ宮城 体感フェスタ」を大阪府で、また「第5回 宮城県の物産と観光展（西武高槻展）」を高槻市で開催いたします。

うめえ宮城 体感フェスタ

日 平成28年3月6日(日)～7日(月)の2日間

11:00～18:00まで（7日は18:30まで）

所 大阪ビジネスパーク ツイン21 1Fアトリウム
（大阪市中央区城見2丁目1-61）

【内容】・宮城の地元企業による物産PR&販売ブース
・「ずんだ餅」お振る舞い（数量限定）
・伊達武将隊、タージンさん、林裕人シェフのステージイベント ほか

第5回 宮城県の物産と観光展

日 平成28年3月8日(火)～14日(月)の7日間

10:00～20:00まで（最終日は17:00閉場）

所 西武高槻店 4階催事場（高槻市白梅町4-1）

【内容】・宮城の特産品の展示販売
・「さんまのすり身汁」お振る舞い（8日数量限定）
・ふるさと割商品券販売
（5,000円商品券を3,500円で販売）

詳しくは、「うめえ宮城」で検索 <http://umee-miyagi.com/>

問 県食産業振興課 022-211-2815

復興 イベント情報

伊達なわたりまるごとフェア(亶理町)

亶理の豊かな農・水・商工業を一堂に集めたフェスティバルが開催されます。亶理町特産イチゴの試食コーナーや魚介類・野菜・農産加工品・特産品などの即売、お楽しみ抽選会といった催しも行われます。

日 平成28年3月13日(日) 9:30～14:30

所 亶理町中央工業団地仮設住宅駐車場

問 亶理町商工観光課

☎0223-34-0513

イベントの日程・内容などは変更される場合がありますので、お出かけ前に、それぞれの問い合わせ先にご確認ください。

凡例 日 日時、期間 所 場所、会場 問 問い合わせ

女川町復興幸祭2016(女川町)

東日本大震災から新生女川へ向けて進む姿を全国の人に見て頂きたいという想いで始まった『女川町復興幸祭』。5回目の開催となる今年は、昨年12月23日にオープンした駅前プロムナードでの開催となります。炭火焼き秋刀魚の無料配布、多数の出店、魅力あるステージ等、一日中楽しめるイベントです。

日 平成28年3月26日(土) 10:00～16:00

所 女川駅前プロムナード

問 女川町観光協会

☎0225-54-4328

追悼式典

県では東日本大震災で犠牲となられた方々を追悼するため、追悼献花と記帳所を設置します。

日 平成28年3月11日(金)
9:00～17:00

所 ①県庁(行政庁舎) ②県大河原合同庁舎
③県大崎合同庁舎 ④宮城県総合運動公園総合体育館

問 県危機対策課 ☎022-211-2375

※④については、県スポーツ振興財団が主催

☎022-356-1122

※県内の市町では下記のとおり追悼式・慰霊祭を開催します。

市町名	開催場所	開始時間	問い合わせ	市町名	開催場所	開始時間	問い合わせ
気仙沼市	気仙沼市総合体育館(ケー・ウエーブ)	14:30	0226-22-6600	多賀城市	多賀城市文化センター	14:30	0222-368-1141
南三陸町	南三陸町総合体育館(バイサイドアリーナ)	14:30	0226-29-6451	仙台市	宮城野体育館(元気フィールド仙台内)	14:20	022-214-1145
石巻市	石巻市河北総合センター(ビッグバン)	14:40	0225-95-1111	名取市	名取市文化会館	14:30	0222-724-7140
女川町	女川町総合体育館	14:00	0225-54-3131	岩沼市	岩沼市民会館	14:30	0223-22-1111
東松島市	東松島市民体育館	14:30	0225-82-1111	亶理町	亶理町中央公民館	14:30	0223-34-1111
塩竈市	塩竈ガス体育館	14:30	022-355-5007	山元町	山元町体育文化センター	14:30	0223-37-1111
七ヶ浜町	七ヶ浜国際村	14:45	022-357-7436	※市町村によっては、これ以外の行事も開催される場合があります。			

みやぎ復興プレス 第46号

【発行日】平成28年3月1日 【発行】宮城県震災復興本部(事務局:震災復興推進課)

電話:022-211-2443 e-mail:fukusuif1@pref.miyagi.jp

宮城県ホームページ「震災復興推進課」 [URL http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukusui/](http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukusui/)

「震災・復興」 [URL http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/](http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/)

